# 1 石割山

＊家族向き　日帰り　＊適期＝9月下旬～6月上旬　M227

**山中湖の東に聳える石割山は、登山口からの標高差400メートルほどで家族連れで気軽に登ることができる。開けた山頂からの眺めはすばらしく、真っ向に対面する富士山が実に雄大である。**

富士急行線富士吉田駅から平野行きのバスに乗り、終点の平野で下車。バス停から道志方面への道を進むと、少し先に石割山ハイクコース入口のバス停がある。そこを左の車道に入って、しばらく先の真っ赤な鳥居の立つ広場が石割山登山口である。鳥居をくぐると長い階段が続く。その数403段で1992年（平成4）に建設されたものだ。

階段を登り切り、さらにひと登りで尾根に出るが、そこには山麓からの車道が通じている。車道なりにブナの大木が点在する尾根を上っていくと、石割神社の社前に出る。山名の由来となった10メートル以上もある巨岩は、斜めに大きく割れていて、人間が一人通り抜けられる。岩の割れ目からは、わずかな水が落ちており、飲むと万病に効くといわれている。

石割神社を後に、クマザサが重なり合う急斜面を登ると、三等三角点が置かれた石割山頂（1413メートル）につく。正面には富士山が長く裾を広げ、眼下には山中湖の水面がキラキラと輝いている。西の尾根続きにある大出山越しに御坂山塊が、さらにそのうしろには南アルプスの雄峰群を望むことができる。また、御正体山、杓子山、鹿留山、三ツ峠山などの眺めがよく、忍野村はすぐ右下に静かなたたずまいを見せている。

帰路は平尾峠へ向かい尾根道を下り、平尾峠から平野へと下りる。途中から登りに歩いた長い階段が見える。のびやかな山裾の道となって、さらに下ると別荘地のなかから石段を下りると、登りに使った道に出る。平野のバス停までは、その道を戻る。

# 2 高座山・杓子山

＊一般向き　日帰り　＊適期＝9月下旬～5月下旬　M227

**山梨百名山のひとつである杓子山は、道志山塊の西端に位置している。明るく開けた山頂からは富士山をはじめ、山中湖、御坂山塊、南アルプスの眺めがすばらしい。**

富士急行線富士吉田駅から内野行きのバスに乗り、途中、忍野富士で知られる忍野村忍草をすぎ役場前で下車する。少し戻り忍野小学校、中

◎石割山
富士急行線富士吉田駅（富士急行バス35分）平野（30分）石割山登山口（45分）石割神社（20分）石割山（20分）平尾峠（1時間）平野（富士急行バス35分）富士吉田駅
歩程＝2時間55分
地形図＝5万／山中湖　2.5万／御正体山

◎山行アドバイス
・富士吉田駅から石割山ハイクコース入口を経由する道志民宿行きのバスは、便が少ないので利用は無理だろう。平野から歩いても1区間でわずかな距離である。
・平野からは富士吉田駅行きのバスのほかにも新宿行きの中央高速バスが出ている。また、途中の旭日丘では御殿場行きのバスに接続している。
・行程が短いのでファミリーハイクにも適している。展望を楽しむつもりであれば、なるべく早い時刻に山頂に立ちたい。午後になると富士山には雲が湧く確立が高くなる。
・水は石割神社後ろの巨岩の湧水を使うのもよいが、ふもとで十分用意した方が無難だろう。

学校の横を通り、北側に見えるカヤトにおおわれた高座山（八ノ字山）をめざす。舗装された道は**鳥居地峠**まで続いており、車利用であればそこまで入ることができる。峠からまっすぐ下れば大明見区へ向かう。

峠の右側の高座山登山道に入り、少し急な作業道を進み、車止めゲート前で左手に入り尾根道に出る。ゆるやかな登りがしばらく続き、最後の急坂が終わるとカヤトの原が開けた**高座山**（1304メートル）に達する。

高座山で富士山の眺望を堪能したら、北東に尾根道を下る。雑木林のなかに、花期であればレンゲショウマが美しい。送電線の鉄塔をすぎると**大権道峠**で、少し先にはハンググライダーのスタート台がある。左側には崩壊止め工事のための林道が上がってきている。

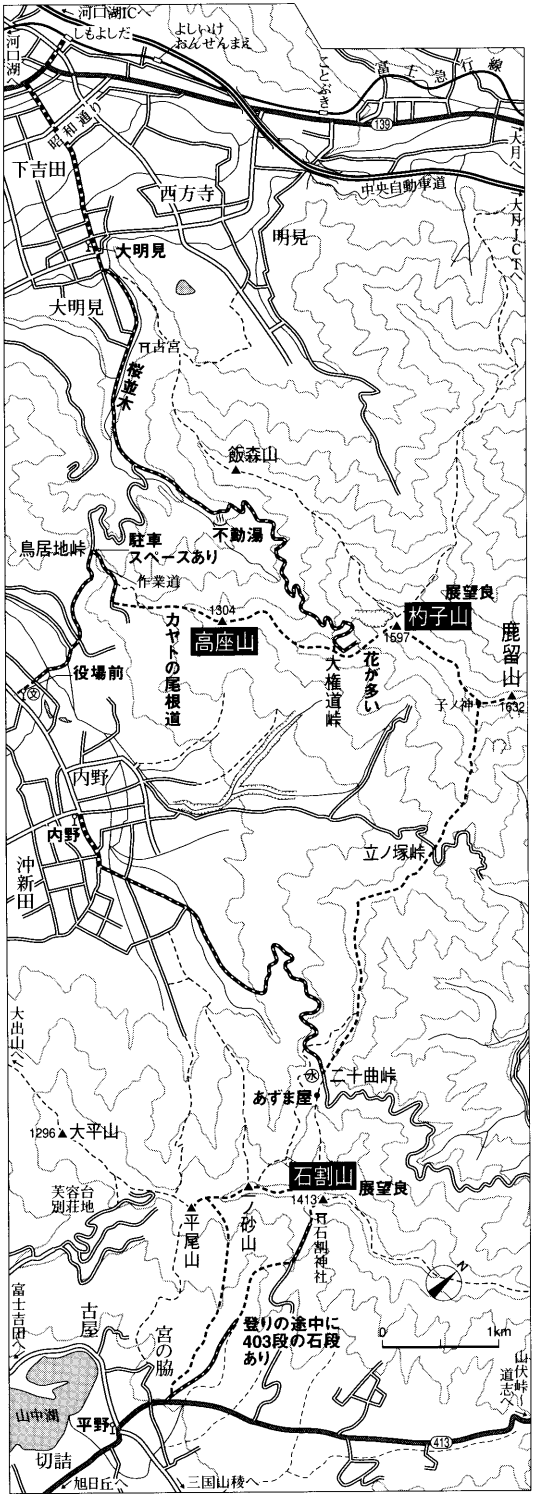
大権道峠から杓子山までは30分ほどの急な登りとなるが、フシグロセンノウ、ギンラン、ツリガネニンジン、グンナイフウロ、ヤマラッキョウなどの季節の花が数多く、目を楽しませてくれる。

**杓子山**（1598メートル）は三等三角点が置かれ、山梨百名山の標柱がある。山頂からの眺めは実にすばらしく、丹沢山塊、愛鷹山、富士山が手にとるように近く、三ツ峠山、御坂山塊の後ろには、南アルプスの雄峰が連なっている。

ゆっくり展望を楽しんだら東へ尾根どおしに進み、鹿留山の分岐点の**子ノ神**につく。ここから鹿留山を往復する。**鹿留山**は展望はないがブナの林が美しい山頂である。

再び**子ノ神**まで戻り、南へと急坂を下る。足元を確認しながら下り終えたところが**立ノ塚峠**で、そこには小さな石地蔵と道標がある。

立ノ塚峠からさらに尾根道をたどる。右手の忍野村と富士山の景色をゆっくり眺めながらいけば林道が横切る**二十曲峠**につく。近くにはあずま屋や水場があり、休憩に最適である。また、富士山の展望がよいため



か写真愛好家の集まる場所でもある。

二十曲峠からは内野方面に下る。林道なりに下っていくと田園風景が広がってくる。夏にはヒマワリ畑、秋にはコスモス畑となって美しく咲き乱れている。途中、たまご拾い牧場や無人の野菜売場もあり、新鮮なたまごや野菜などを買い求めることもできる。赤い鳥居の天狗社を左に見て、すぐ先に**内野**のバス停があり、そこで**富士吉田駅**行のバスを待つ。

杓子山頂から富士山を見る

## サブコース 杓子山から不動ノ湯

杓子山よりの下山ルートとして価値のあるコース。**杓子山頂**から**大権道峠**まで戻り、すぐ下にある林道に下りて山腹をからみながら高度を落としていく。谷間の平坦な道となると、しばらくで**不動ノ湯**につく。

不動ノ湯は公営の温泉で、皮膚病やアトピーに特効力があるといわれ、近郷から湯治にくる人や、ポリタンクに湯をつめて帰る人で賑わっている。山行中の野草カブレに効くので、時間に余裕があれば一浴していくとよい。

不動ノ湯からは舗装道路となり、途中、左に鳥居地峠からの道を合わせた後、川沿いに桜並木を見ながらたどっていくと、大明見の駐在所と銀行の前を通り、火の見やぐらを左に見て**大明見の交差点**に出る。ここからは下吉田駅行のバスが出ており、近くにはタクシー会社もある。歩いても40分ほどの距離で、桂川を渡り昭和通りを横断、国道139号線に出て宮川橋を直進すると富士急行線**下吉田駅**である。

# 3 三国山

**＊一般向き　日帰り　＊適期＝9月上旬～5月下旬**

M229

**山中湖の南岸に連なる三国山稜は、草原の開けたなだらかな尾根が続き、富士山や山中湖の眺めがよい。新緑の季節には野鳥の声が、またフジアザミの咲く晩夏、紅葉の秋と、どの季節に訪れても楽しいコースだ。**

**籠坂峠**でバスを降りたら、籠坂ドライブインの反対側の道に入る。火山灰の道を15分ほど歩き、雪割をすぎた先で右に分かれる道に注意して、指導標に従い登山道に入る。

**尾根道を角取山へと進むにつれ、**

◎**高座山・杓子山**

富士急行線富士吉田駅（富士急行バス20分）役場前（45分）鳥居地峠（50分）高座山（30分）大権道峠（30分）杓子山（25分）子ノ神（10分）鹿留山（5分）子ノ神（45分）立ノ塚峠（50分）二十曲峠（1時間）内野（富士急行バス25分）富士吉田駅

歩程＝5時間50分

▼サブコース

杓子山（20分）大権道峠（50分）不動ノ湯（45分）大明見交差点（40分）富士急行線下吉田駅

地形図＝5万／山中湖　2.5万／富士吉田、御正体山

◎**山行アドバイス**

・役場前バス停から鳥居地峠へ向かう里道が少々わかりにくいので、地図をよく確認して歩きたい。要所には指導標が立てられている。

・コース中に水場は二十曲峠付近のみなので、水は駅で十分に用意していきたい。

・杓子山付近の花期は、フシグロセンノウが8月下旬、ギンランが6月上旬、ツリガネニンジンが8月下旬、グンナイフウロが7月下旬、ヤマラッキョウが9月下旬である。